



DUARES

施工マニュアル

施工するにあたり、以下のような作業環境をおすすめいたします。

- 1 施工に支障がないスペース
- 2 直射日光、雨、風、ホコリなどを防げる屋内
- 3 エアーホース、水道、電源の確保できる場所
- 4 蛍光灯などの照明施設

※上記の条件以外で施工した場合は品質、仕上がりに悪影響を及ぼす可能性があります。

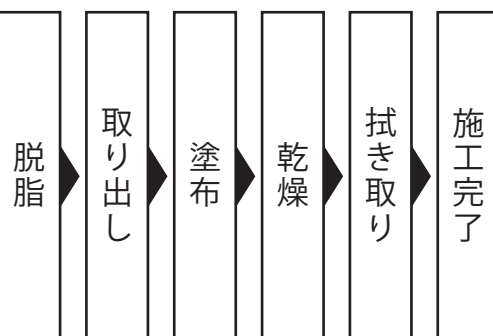
- ※コーティング作業に入る前に必ずボディチェックを行い、キズ・ヘコミなどがないか確認を行ってください。
- ※新車の場合、ガードフィルムのノリなどが残らないよう脱脂剤でしっかりと取り除いてください。
- ※中古車の場合は、下地処理を行ってからコーティング作業を行ってください。
- ※炎天下及びボディ塗装面が高温の時にはコーティング作業を行わないでください。
- ※換気のよい場所で作業を行ってください。
- ※ラッカー塗装への施工はできません。
- ※再補修箇所への施工は2〜4週間後に行ってください。



ボディが汚れている場合は、予め洗車を行い汚れを落としてください。
洗車後はエアブローなどを使用して水分をしっかりと除去してください。

内容物

- 1 本液 (64ml)
- 2 反応液 (16ml)
- 3 塗布スポンジ × 1
- 4 マイクロファイバークロス × 1

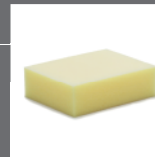


デュアレスは2液タイプとなっており、本液と反応液を混ぜ、良く振ってからお使いください。

脱脂～取り出し

使用アイテム

- 本液・反応液混合
- 塗布用スポンジ



コーティング施工時の水分は厳禁です

施工時に水分が混入すると施工不良などの原因となり、本来の性能が発揮されません。必ずエアブローなどでしっかり水分を除去してから作業を行ってください。

① 脱脂

脱脂剤をたっぷり染み込ませたクロスでボディ全体を優しく拭き上げ、その後乾いたクロスで再度ボディ全体を優しく拭き上げてください。油分・ノリの残りなどを除去します。



濃色系の車両などは擦りキズが目立ちやすいので、水で濡らして固く絞ったクロスで脱脂作業を行ってください。

① 注意

脱脂剤の量が少ないと脱脂が不十分なため、必ずたっぷり染み込ませたクロスで行ってください。



② 取り出し

本液と反応液を混合した液剤（以下、本液）をよく振り、攪拌してください。付属の塗布用スポンジの白い面でビンに蓋をするように抑え、ビンとスポンジを逆さまにします。



ビンをスポンジに軽く押し当てるようにしながら「W」の字を2回描くように液剤を取り出します。

① 注意

液剤は開封後2時間以内に使用してください。
保存して再使用はしないでください。



塗布～乾燥

使用アイテム

- 本液・反応液混合
- 塗布用スポンジ



③ 塗布

取り出した本液をパネル半分に対して縦横ムラなく塗布してください。

POINT

未塗装部分に液剤が付着した場合は、水で濡らし固く絞ったクロスで拭き取ってください。乾燥して拭き取りにくくなった場合は、専用脱脂剤を含ませたクロスで拭き取ってください。

注意

- 適正な塗布量はスポンジがスムーズに動き、且つ液剤が垂れない程度です。
- 塗布時の方向性はありませんが、塗り忘れには十分注意してください。
- スポンジを強く押しつけたり、円を描く様には塗布しないでください。
- スポンジを汚したり、地面に落とした場合は新品と交換してください。
- ポリッシャーでは塗布しないでください。コーティング剤が飛び散る恐れがあります。

2回目以降の取り出しは、P.1の「取り出し」の方法で「W」の字を1回描くように取り出し、車両全体へ塗布していきます。



④ 乾燥

塗布後、本液を乾燥させます。

乾燥時間の目安は下記の表を参考にしてください。

塗布後乾燥時間目安

施工環境温度	乾燥時間(分)				
	5	10	15	20	25
0～15℃	→				
16～35℃	→				
36～45℃	→				

※直射日光が当たる場所や塗装面が高温の時にはコーティング作業を行わないでください。

注意

- 天候、温度、湿度など環境によって乾燥時間は多少前後します。
- 塗布後、30分以上乾燥させると拭き取りづらくなる恐れがあります。
- 夏場など気温が高い場合は乾燥時間が早くなる場合があります。一度に全体の塗布を行わず、パネル毎に【塗布～拭き取り】を行いながら施工することをお勧めします。



拭き取り～施工完了

使用アイテム

■マイクロファイバークロス
(ブルー)



⑤ 本液拭き取り

乾燥後、付属のマイクロファイバークロス(ブルー)を用意します。

水で濡らして軽く絞ったマイクロファイバークロスで、先に粗拭きを行った後、さらにゆすいで固く絞ったマイクロファイバークロスにて仕上げ拭きを行います。

① 注意

- キズ防止の為、強い力でゴシゴシと拭き上げないでください。
- 濃色車の場合、水拭き跡が気になる場合は乾いたマイクロファイバークロスでキレイに仕上げてください。
- 拭き上げたあと、水気の状態によってはエアブローを使用し水気をよく飛ばして仕上げを行ってください。



⑥ 施工完了

最後に、車両全体に拭き残し・ムラなどがいないか確認を行って完成です。作業終了後、20分は水で濡らさないでください。

① 注意

エンブレム、プレスライン、モール類周辺等の細部は拭き残しが発生しやすいためしっかりと確認を行ってください。



作業終了後、20分は水で濡らさないでください。

初期の雨染み等の発生を防ぐために、作業終了後20分は水で濡らさないでください。